

シー・エス
C・S みやいけ

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



地域の人たちと(協和公民館)

夏休み終了

コロナ禍の夏、大雨の夏、酷暑の夏……

厳しい夏でしたが、負けずに頑張る子どもたちの姿をあちこちで、あるいは宮小ホームページ(閲覧数2,045,750)で、たくさん見せてもらいました。ひと夏の様々な体験を通じて、どの子も一回り大きく成長したことでしょう。

オリンピック・パラリンピックの夏

様々な考えが交錯する中で開催された57年ぶりの東京オリンピック・パラリンピック…多くの選手たちが口にした「感謝・夢・努力」という言葉は、子どもたち一人一人の将来への夢や希望に繋がる大きなメッセージになったと思います。



ポッチャの杉村選手

ラジオ体操(成岩地区少年を守る会主催)



構範を示す成中生(白山公園)

8月1日(日)から10日間、開催されました。

小中学生や親子づれなど、幼い子どもたちから高齢の方まで、例年以上にたくさんの皆さんが参加されていました。とりわけ、各会場で先頭に立ってリーダーシップを発揮していた成岩中学校の皆さんの姿に感心しました。ありがとうございました。

5年生 野外教育活動

2日間のキャンプ、よい思い出になったことでしょう。「美浜少年自然の家」の所員の方々から、宮池小の子どもたちの生活ぶりや行動が「とても立派で、感心しました」と、ほめていただいたそうです。宮池小を応援する私たちにとっても、こんなうれしいことはありません。「さすがだな!!」と思いました。



キャンプファイヤー

宮池小応援団～手指消毒スタンド製作～

7月15日(木)開催の児童会との懇談会で、「昇降口に、手指消毒スタンドを設置したい!」との提案を受けて、7月31日(土)に地域の方の指導のもとで、応援団の皆さんが木製の手指消毒スタンド6台を製作してくださいました。2学期から、東西昇降口に2台ずつ設置されます。残り2台は、「宮池会館」と「マーキュールーム(半田市適応指導教室)」にそれぞれ1台ずつ寄贈します。



木製の消毒スタンド完成

フリースペースの環境整備(木質化)

8月末に、日本福祉大学健康科学部福祉工学科の坂口大史研究室から、「宮池小フリースペースを、愛知県産の木材を使った部屋にしたらどうか」という提案がありました。

通常の空間とは違った木のぬくもりのある室内環境が、人に与える心理的効果を検証したいとするものです。同研究室は、建築と環境の調和や空間における行動・心理に関する研究として、これまでに亀崎の街づくりや放課後児童クラブの環境づくりなどに取り組んでいます。今後、具体的な計画が検討されます。どんな部屋になるのか楽しみです。

2学期スタート



元気いっぱい、笑顔いっぱい

子どもたちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。しかし、依然としてコロナの感染状況が深刻です。始業式では、校長先生から、「①手洗い(手指消毒) ②マスク ③換気 ④黙食 ⑤無理しない この5つを徹底することが、『自分を守る』『家族を守る』『お友達を守る』ことになります。しっかりと取り組みましょう。」と、感染予防について再確認がされたそうです。今まで以上に、先生方と保護者の皆様と地域住民の連携を大切にして、子どもたちの安全と健やかな成長を応援していきたいと思えます。

子どもサポート会議の各部会の活動

「なんでも相談窓口」、「ママたちのおしゃべり会」、「子ども食堂 みやっ子サロン」、「子どもの居場所づくり」の4部会は、コロナの状況を見ながら、無理のない活動を進めていきます。ご協力をお願いします。

「オータムフェスティバル」中止

協和区から提案のあった「学校と地域のコラボレーションによるオータムフェスティバル」(10月16日(土))に開催予定)は、コロナ感染拡大のため中止になりました。